

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
実用感度 (S/N:26 dB)
S/N 46 dB感度
周波数特性 (±3.0 dB)
S/N比 (dB)
選択度 (±400 kHz)
ステレオセパレーション(1 kHz)

76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
0.7 μ V/75 Ω
1.6 μ V/75 Ω
30 Hz~15 kHz
73 dB (MONO)
80 dB 以上
35 dB

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
実用感度 (S/N:20 dB)

522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
25 μ V

カセットデッキ部

テープスピード
ワウ&フラッター
周波数特性 (±3.0 dB)
ステレオセパレーション (1 kHz)
S/N比 (dB) (IHF-A) Dolby NR OFF
Dolby B NR ON

4.76 cm/sec.
0.08 % (WRMS)
30 Hz~18 kHz (70 μ s)
43 dB
57 dB
65 dB

オーディオ部

最大出力
定格出力
トーンコントロール バス
トレブル
プリアウトレベル 1800 mV/10K Ω
プリアウトインピーダンス

40 W \times 4
22 W \times 4 (4 Ω , 1 kHz, 1%THD)
±10 dB (100 Hz)
±10 dB (10 kHz)
600 Ω 以下

電源部

電源電圧
最大消費電流

14.4 V (11~16 V)
10 A

寸法・質量 (重さ)

埋込寸法 (W \times H \times D)
質量

182 \times 53 \times 154 mm
1.5 kg

付属部品

電源ハーネス
トラスネジ (M5 \times 6 mm)
バインドネジ (M4 \times 6 mm)

1個
4本
1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

カセットレシーバー 〈CDプレーヤー/ディスクチェンジャーコントロール〉

RX-450

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)357-5335 〒534 大阪府都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
(土、日、祝祭日および当社休日には休させていただきます。)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

© B64-1156-00 (JW)

CONTENTS

| | |
|---|----|
| ●安全上のご注意 | 3 |
| ●使用上のご注意 | 8 |
| ●操作のしかた | |
| ALL MODE <共通操作> | 10 |
| 📻 TUNER MODE <FM/AM放送を聴く> | 16 |
| 📼 TAPE MODE <テーププレイを楽しむ> | 18 |
| 📀 DISC CONTROL MODE <CDプレーヤー/ディスクチェンジャーを操作する> | 22 |
| NAME NAME SET MODE <放送局やディスクに名前をつけて登録する> | 26 |
| 📶 REMOTE CONTROL MODE <リモコンで操作する> | 28 |
| ●接続・取り付けのしかた | 30 |
| ●故障かな?と思ったら | 32 |
| ●保証とアフターサービス | 35 |
| ●仕様一覧 | 36 |

●DISC CONTROL MODEは、別売品のCDプレーヤーやディスクチェンジャーを組み合わせている場合に操作できます。

●REMOTE CONTROL MODEのリモコンは別売品のカードリモコン“KCA-R4”です。

メニューモードについて

常に一定の設定で使用したい機能は、メニューモードで設定します。

メニューモードによる操作は **MENU MODE** で表示しています。



メニューモードは自動的に解除しません。設定後は必ずメニューモードを終了してください。終了しない場合は、他の操作ができなくなることがあります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。
お読みになった後は必要ながきにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告

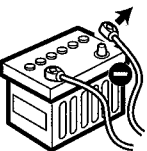


大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12Vアース車専用です。



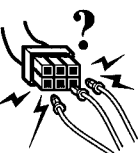
実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



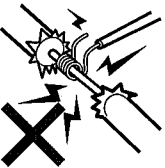
実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



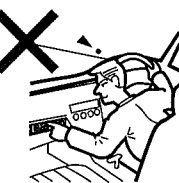
禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当るなど、怪我の原因となります。



警告



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

警告



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用ください。

実施



運転者が各種設定や調整などの操作をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

実施



ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

禁止



万一、<異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど>異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

実施



製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

禁止



修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご相談ください。

実施

注意



カセットテープ挿入口に指を入れないでください。怪我をすることがあります。

禁止



カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

実施



ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをするおそれがあります。

禁止



本製品に使用している液晶部品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。

禁止



本製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。

注意



リモコンには指定以外の電池を使用しないでください。また、電池の入れ替えは極性に注意し指示通りにおこなってください。乾電池の破裂、液漏れなどにより、火災や怪我の原因となることがあります。

禁止



本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

禁止

使用上のご注意

CDプレーヤー/ディスクチェンジャーについて

KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C80 (ディスクチェンジャー) や RD-350 (CDプレーヤー) は直接接続することができます。

CDテキスト対応CDチェンジャー“KDC-C210, KDC-C206”を接続する場合は、CDチェンジャーのO-Nスイッチを“N”に設定してください。“N”に設定しないとCDテキストは表示されません。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50, KDC-C55のいずれかを接続するときは、別売品の“CA-DS100”が必要です。別途お買い求めください。

また、C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の“CA-KD20”が必要です。別途お買い求めください。

CD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S200”を使用するとディスクチェンジャーを2台コントロールすることができます。

接続等詳しい説明はKCA-S200付属の取扱説明書をご覧ください。

なお、KCA-S200を使用している場合はKDC-C210, KDC-C206のCDテキスト機能は動作しません。(CDチェンジャーのO-Nスイッチは“O”に設定してください。)

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると故障や破損の原因となります。

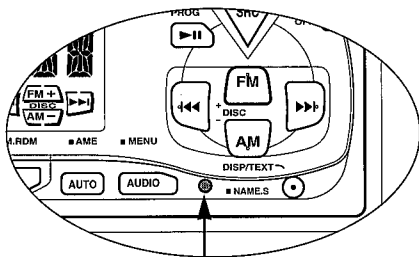
接続している機種により、使用できる機能が異なる場合があります。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか、やわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷がついたり、文字が消えることがあります。

リセットボタンについて

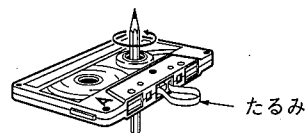
万が一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンを押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。



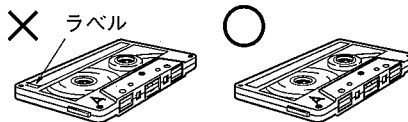
リセットボタン

テープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

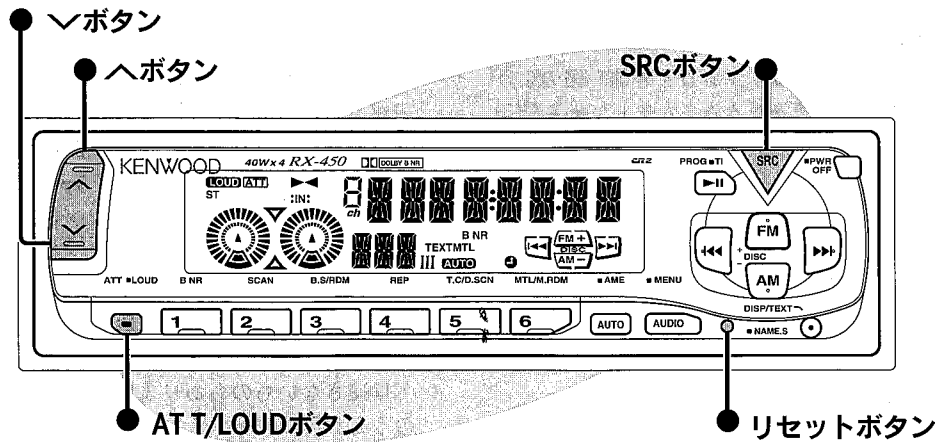
100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないでください。

ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

ALL MODE

ALL MODE



1 システムリセット

取付直後や本機またはCDプレーヤー/ディスクチェンジャーが誤動作したとき、またはバッテリー交換をしたときは、ペン先などでリセットボタンを押してください。

ディスクネーム以外のメモリー内容はすべて消去されます。

2 電源オン —電源を入れる—

SRCボタンを押すと電源がオンになります。

前に電源をオフしたときのソースモードになります。

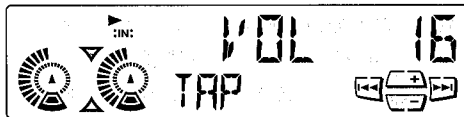
3 電源オフ —電源を切る—

SRCボタンを1秒以上押すと電源がオフになります。

4 ボリューム —音量を調整する—

Hボタンを押すごとに音量が大きくなります。

Vボタンを押すごとに音量が小さくなります。



5 アッテネーター —音量をすばやく小さくする—

AT Tボタンを押すごとにアッテネーターがオン/オフします。

オンにするとATTインジケーターが点滅して、音量が瞬時に小さくなります。



6 ラウドネス —小音量時にメリハリのある音質にする—

LOUDボタンを1秒以上押すごとに、LOUDネスがオン/オフします。

オンにするとLOUDインジケーターが点灯して、高音と低音が強調された音になります。



FM/AM放送受信中は低音のみ強調した音になります。

7 ソースモード選択 —聴きたいソースに切り替える—

SRCボタンを押すごとにソースモードが下記の順に切り替わります。

- ↓
 - TUNER : FM/AM放送を聴くモード (TUNER MODE)
 - TAPE : テープ演奏を聴くモード (TAPE MODE)
 - CD : CDプレーヤー演奏を聴くモード
 - DISC : ディスクチェンジャー演奏を聴くモード
- (DISC CONTROL MODE)

選択しているソースモードは表示で確認できます。

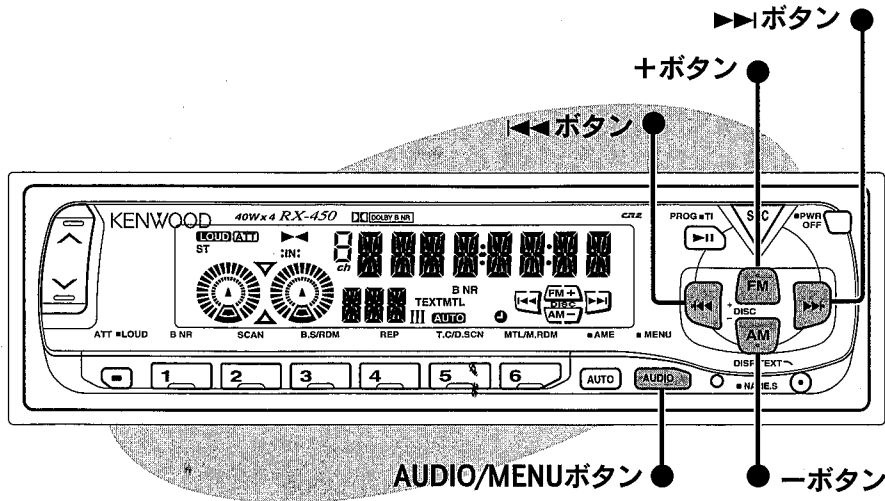


- カセットテープが入っていない場合は「TAPE」には切り替わりません。
- 接続しているCDプレーヤーにディスクが入っていないときに「CD」に切り替えると、「EJECT」と表示されます。
- ディスクチェンジャーが接続されていないときは、「DISC」には切り替わりません。
- 別売のスイッチングユニット「KCA-S200」を使用して、CDプレーヤーやディスクチェンジャーを接続している場合は、「DISC」が「DISC1」、「DISC2」の順で切り替わります。

ALL MODE

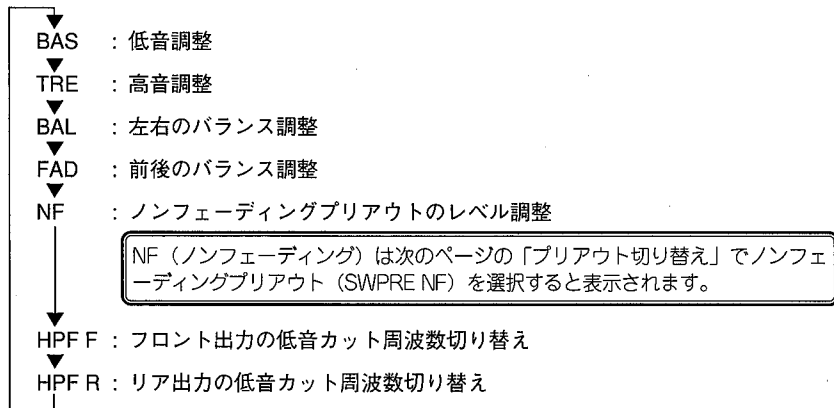
ALL MODE

ALL MODE



8 オーディオコントロール —オーディオの各種設定—

1. AUDIOボタンを押してオーディオ調整モードにします。
2. +ボタンまたは-ボタンを押します。
押すごとに調整する項目が以下のように切り替わります。
+ボタンで先の項目へ進み、-ボタンで手前の項目に戻ります。



3. \lllボタンおよび\gggボタンを押すと次のページの表のように設定が変更できます。
4. AUDIOボタンを押してオーディオ調整モードを終了します。

- フロントとリア出力に別々のハイパスフィルター (HPF) 周波数設定ができます。
- ノンフェーディングプリアウトを選択すると、ノンフェーディング出力を除いてハイパスフィルターがかかります。(お買い上げ時はHPF設定はオフになっています)

| 調整モード (表示) | ボタンの操作 | |
|----------------|---|-------------------|
| | \lll | \ggg |
| BAS 100HZ +4 | 低音減衰 ←-----> | 低音増強 -----> |
| TRE 10KHZ -4 | 高音減衰 ←-----> | 高音増強 -----> |
| BAL LEFT 15 | 左側強調 ←-----> | 右側強調 -----> |
| FAD FRONT 15 | リア側強調 ←-----> | フロント側強調 -----> |
| NF LEVEL +15 | 出力減衰 ←-----> | 出力強調 -----> |
| HPF F F 220HZ | フロント出力の低音をカットする周波数が切り替わります。 THROU(HPFオフ) \leftrightarrow40Hz\leftrightarrow60Hz\leftrightarrow80Hz\leftrightarrow100Hz \leftrightarrow120Hz \leftrightarrow150Hz\leftrightarrow180Hz\leftrightarrow220Hz | |
| HPF R R THROU | リア出力の低音をカットする周波数が切り替わります。 THROU(HPFオフ) \leftrightarrow40Hz\leftrightarrow60Hz\leftrightarrow80Hz\leftrightarrow100Hz \leftrightarrow120Hz \leftrightarrow150Hz\leftrightarrow180Hz\leftrightarrow220Hz | |

9 プリアウト切り替え —フロントプリアウトをサブウーファー用出力に切り替える— MENU MODE

1. MENUボタンを1秒以上押してメニューモードにします。
2. \lllボタンまたは\gggボタンを押して、「SWPRE」を表示させます。
3. +ボタンまたは-ボタンを押すごとに「SWPRE F」(フロントプリアウト)と「SWPRE NF」(ノンフェーディングプリアウト)に設定が切り替わります。
4. MENUボタンを押してメニューモードを終了します。

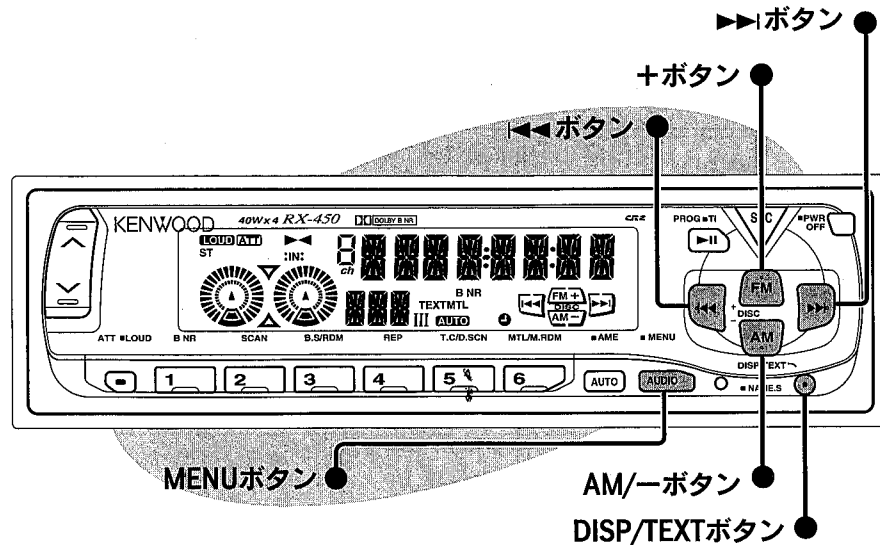


ノンフェーディングとはFAD (フェーダー) で前後に調整してもレベルが変化しない出力です。おもにサブウーファー用パワーアンプを接続するときに使用します。

ALL MODE

ALL MODE

ALL MODE



10 ノンフェーディング出力オン/オフ
— ノンフェーディング出力のオン/オフを切り替える —

「プリアウト切り替え」でノンフェーディングプリアウトを選択している場合は、AMボタンを1秒以上押すごとにノンフェーディング出力がオン/オフします。

本機能はサブウーファーなどの音をオフにしたいときに使用します。

11 ビープ音オン/オフ — 操作確認のビープ音をオン/オフする — MENU MODE

1. MENUボタンを1秒以上押してメニューモードにします。
2. <<ボタンまたは>>ボタンを押して、「BEEP」を表示させます。
3. +ボタンまたは-ボタンを押すごとに「BEEP ON」（ビープ音オン）と「BEEP OFF」（ビープ音オフ）に設定が切り替わります。
4. MENUボタンを押してメニューモードを終了します。



12 グラフィック表示切り替え
— ボリュームレベル表示をグラフィック表示に切り替える — MENU MODE

1. MENUボタンを1秒以上押してメニューモードにします。
2. <<ボタンまたは>>ボタンを押して、「GRAP」を表示させます。
3. +ボタンまたは-ボタンを押すごとに「GRAP ON」（グラフィック表示）と「GRAP OFF」（ボリュームレベル連動表示）に設定が切り替わります。
4. MENUボタンを押してメニューモードを終了します。

グラフィック表示オンに設定するとTUNER MODEでは全灯（チューニング中は回転表示）、その他のMODEでは回転表示になります。

オーディオコントロール調整中は、グラフィック表示オンに設定しても、オーディオ調整値に連動した表示になります。



グラフィック/ボリュームレベル連動表示

13 時計表示オン/オフ
— ディスプレイ切り替え時に時計表示を追加する — MENU MODE

1. MENUボタンを1秒以上押してメニューモードにします。
2. <<ボタンまたは>>ボタンを押して、「CLK」を表示させます。
3. +ボタンまたは-ボタンを押すごとに「CLK ON」（時計表示オン）と「CLK OFF」（時計表示オフ）に設定が切り替わります。
4. MENUボタンを押してメニューモードを終了します。

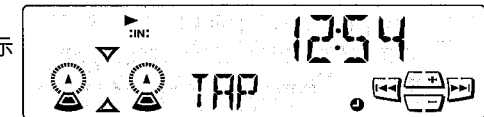
時計表示オンに設定するとDISP/TEXTボタン押すごとに表示が以下のように切り替わります。

◆TUNER MODEのとき

受信周波数表示 → SNPS（ステーションネーム）表示 → 時計表示

◆TAPE MODEのとき

演奏テープ面表示 ↔ 時計表示



◆DISC CONTROL MODEのとき

演奏しているCDプレーヤー、ディスクチェンジャーにより異なります。DISC CONTROL MODEの「表示モード切り替え」（25ページ）をご覧ください。

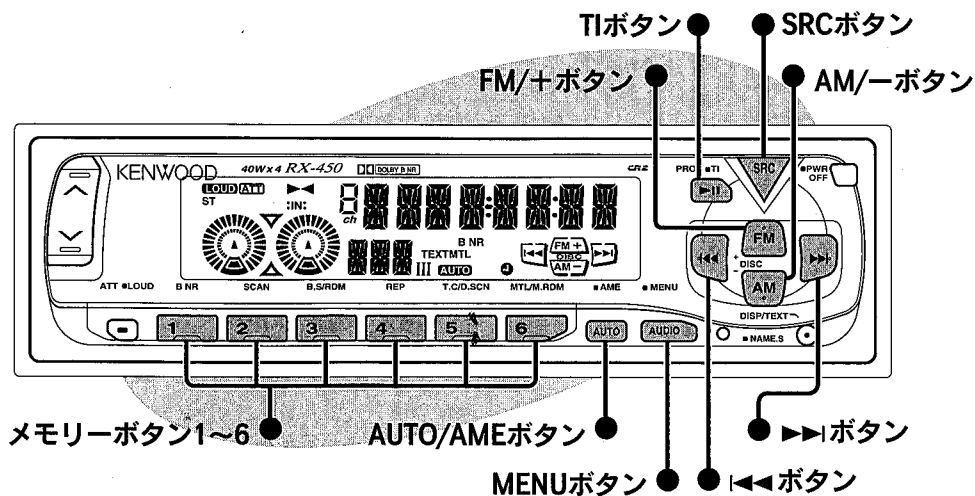
- 時計表示中はインジケーターが点灯します。
- 本機の電源をオフ、およびエンジンキーをオフにしているときは時計の表示はしません。
- SNPSは登録している場合に表示されます。登録方法については26ページをご覧ください。

14 時計調整 — 時刻を合わせる — MENU MODE

1. MENUボタンを1秒以上押してメニューモードにします。
2. <<ボタンまたは>>ボタンを押して、「CLK ADJ」を表示させます。
3. +ボタンまたは-ボタンを2秒以上押して、時計表示を点滅させます。
4. +ボタンを押すごとに時間が進み、-ボタンを押すごとに時間が戻ります。>>ボタンを押すごとに分が進み、<<ボタンを押すごとに分が戻ります。
5. MENUボタンを押すと時刻がセットされ、メニューモードが終了します。

TUNER MODE

TUNER MODE



1 バンド切り替え —FM/AM放送を聴く—

1. SRCボタンを押して、「TUNER」を表示させます。受信周波数が表示されます。



2. FMボタンまたはAMボタンを押して、バンドを選びます。FMボタンを押すごとに、FMバンドが「FMI」、「FMII」、「FMIII」に切り替わります。AMボタンを押すと、AMバンドに切り替わります。選択したバンドが表示されます。

AM放送はモノラル受信のみになります。

2 オート/マニュアルチューニング —放送局を探す—

AUTOボタンを押すごとにチューニング方法がオート（自動選局）とマニュアル（手動選局）に切り替わります。オートチューニングを選択するとAUTOインジケータが点灯します。

●オートチューニング選択時（AUTOインジケータ点灯）

▶▶ボタンを押すと周波数の高い方へ、◀◀ボタンを押すと周波数の低い方へ自動的に放送局を探して受信します。

●マニュアルチューニング選択時（AUTOインジケータ消灯）

▶▶ボタンを押すと周波数が高い方へ、◀◀ボタンを押すと周波数が低い方へ1ステップずつ変わります。押し続けると連続して周波数が切り替わります。

FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。



3 オートメモリー —自動的に放送局を探してメモリーする—

1. FMボタンまたはAMボタンを押してメモリーしたいプリセットバンドを「FMI」、「FMII」、「FMIII」、「AM」から選びます。
2. AMEボタンを2秒以上押すと「A-MEMORY」と表示されオートメモリーを開始します。オートメモリー中はchインジケータが点滅して、現在受信可能な放送局を各バンド最大6局まで自動的にメモリーします。



4 マニュアルメモリー —放送局をマニュアルでメモリーする—

- 放送局を受信中にメモリーボタン1~6のいずれかを2秒以上押すと、押したボタンに現在聴いている放送局がメモリーされ、メモリーNo.が表示されます。各バンドにそれぞれ6局までメモリーできます。



5 メモリー呼び出し —メモリーした放送局を呼び出す—

- メモリーボタン1~6のいずれかを押すとメモリーNo.が表示され、オートメモリーやマニュアルメモリーでメモリーした放送局に切り替わります。

6 強制モノラル受信 —ノイズを少なくして聴く—

MENU MODE

1. FM放送を受信します。
2. MENUボタンを1秒以上押してメニューモードにします。
3. ◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押して、「MONO」を表示させます。
4. +ボタンまたは-ボタンを押すごとに「MONO ON」（モノラル オン）と「MONO OFF」（モノラル オフ）に設定が切り替わります。
5. MENUボタンを押してメニューモードを終了します。



7 交通情報 —交通情報局を受信する—

- 交通情報を聴く
TIボタンを1秒以上押すと交通情報がオンになります。
- 受信周波数を切り替える
◀◀または▶▶ボタンを押すと受信周波数が以下のように切り替わります。



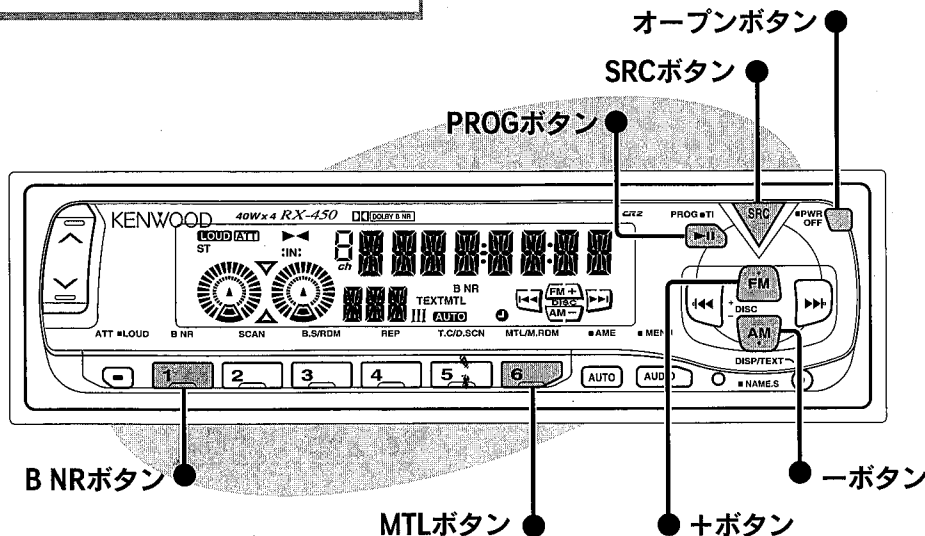
⇐ 1620 kHz ⇔ 1629 kHz ⇨ 522 kHz ⇨

- 交通情報はどのモードからも受信することができます。
- 交通情報はTIボタンを押す、または他のモードに切り替えると解除されます。

TAPE MODE

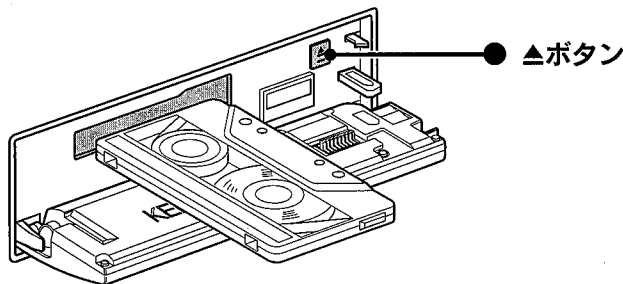
TAPE MODE

TAPE MODE



1 パネルオープン - カセットテープを挿入する -

オープンボタンを押すと操作パネルが開いて、カセットテープ挿入口にカセットテープが入られるようになります。



- 変形したカセットテープや100分以上のカセットテープは使用しないでください。カセットテープが取り出せなくなるなどの故障原因になります。
- カセットテープを挿入する際は、カセットテープを手で押し込んで完全に引き込まれてから操作パネルを閉めてください。
- 操作パネルを倒した時にシフトレバーなどにディスプレイパネルが干渉する場合があります。その場合は、安全に注意してシフトレバーを動かすなどして本機を操作してください。
- オープンした操作パネルに無理な力をかけたり、物を置かないでください。破損や故障の原因になります。
- 操作パネルをオープンした状態で使用しないでください。

2 パネルクローズ

ロックするまで操作パネルを手で押し戻してください。

3 テーププレイ - テープを演奏する -

- テープが入っていないとき (:IN: インジケータ消灯)
テープの見える面を右側にしてカセット挿入口にカセットテープを入れると、テーププレイが始まります。
- テープが入っているとき (:IN: インジケータ点灯)
SRCボタンを押して、「TAPE」を表示させると、テーププレイが始まります。
- ☞ テーププレイ中にPROGボタンを押すと、テープのA面とB面が切り替わります。



4 イジェクト - カセットテープを取り出す -

操作パネルをオープンして、▲ボタンを押すとカセットテープが出てきます。

5 早送り/巻き戻し

- +ボタンを押すと早送りをします。
- ボタンを押すと巻き戻しをします。
- ☞途中で解除するときはPROGボタンを押します。

6 ドルビーB NR - ドルビーB NRを使って録音されたテープを聴く -

B NRボタンを押すごとにドルビーB NRシステムがオン/オフします。オンにするとB NRインジケータが点灯します。ドルビーB NRシステムで録音したテープを再生するときはオンにします。



ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

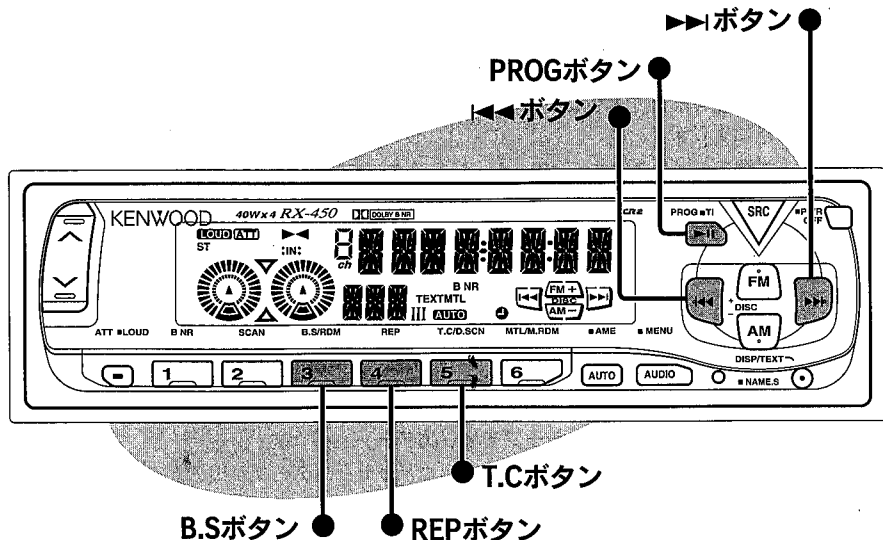
7 テープセレクト - メタル/クロームテープを聴く -

MTLボタンを押すごとにテープタイプがメタル (TYPE IV) / クローム (TYPE II) ポジションとノーマル (TYPE I) ポジションに切り替わります。オンにするとMTLインジケータが点灯します。メタル/クロームポジションのテープを再生するときはオンにします。



TAPE MODE

TAPE MODE

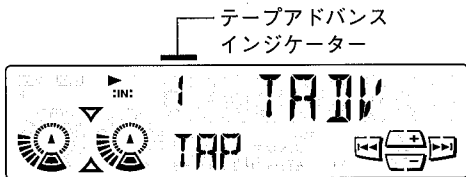


8 テープアドバンス — 曲の頭出しをする —

● 次の曲を聴く

▶▶ボタンを押すとテープアドバンスインジケータ表示が [1] になり、次の曲の先頭まで早送りし、自動的に演奏が始まります。

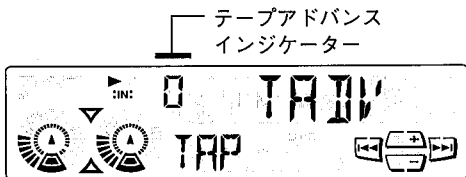
途中で解除するときはPROGボタンを押します。



● 現在の曲を最初から聴く

◀◀ボタンを押すとテープアドバンスインジケータ表示が [0] になり、現在の曲の先頭まで巻き戻り、自動的に演奏が始まります。

途中で解除するときはPROGボタンを押します。



9 リピートプレイ — 同じ曲を繰り返し聴く —

REPボタンを押すごとにリピートプレイがオン/オフします。オンにすると、聴いている曲を繰り返し演奏します。



リピートプレイは、PROGボタンを押しても解除できます。

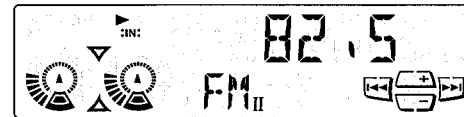
10 ブランクスキップ — 無録音部分をスキップする —

B.Sボタンを押すごとにブランクスキップがオン/オフします。オンにすると、10秒以上無録音部分があると自動的に次の曲の先頭まで早送りされます。



11 チューナーコール — 早送り・巻き戻し中にFM/AM放送を聴く —

T.Cボタンを押すごとにチューナーコールがオン/オフします。オンにすると、テープの早送り・巻き戻し中、およびテープアドバンス中はFM/AM放送の音声に切り替わります。



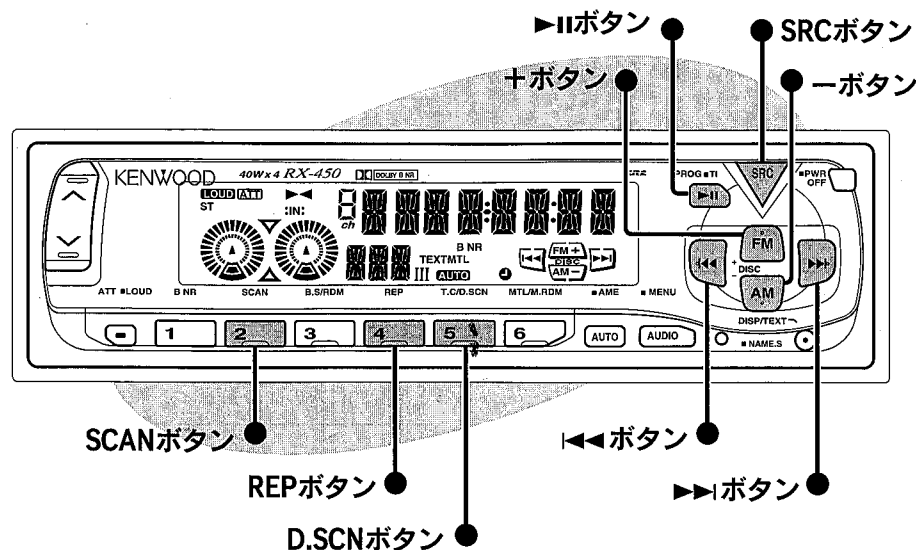
チューナーコールがオン中は、周波数切り替えなどのチューナー操作はできません。

- テープアドバンス、リピートプレイは曲間の何も録音されていない無録音部分を検出して行ないません。そのため曲間の無録音部分が4秒未満のテープでは曲間を検出できなかったり曲の途中で「先頭」と判断することがあります。
- ブランクスキップは無録音部分の雑音非常大きいと早送りされないことがあります。また、クラシック音楽など録音レベルが非常に小さい部分が曲の途中で10秒以上続くと、ブランクスキップすることがあります。この場合はブランクスキップをオフにしてください。
- オートアンテナ仕様車ではチューナーコールがオンのときアンテナが伸びた状態になります。車庫入れなどでアンテナを縮めたいときはチューナーコールをオフにしてください。

DISC CONTROL MODE

DISC CONTROL MODE

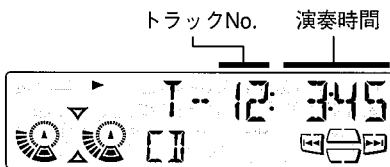
DISC CONTROL MODE



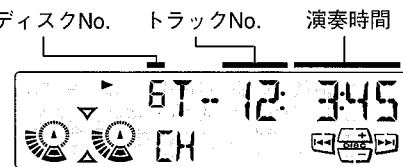
1 ディスクプレイ/ポーズ - ディスク演奏を聴く -

SRCボタンを押して「CD」または「DISC」を表示させると、ディスクプレイが始まります。
 ディスクプレイ中に▶IIボタンを押すと、演奏時間表示と▶インジケータが点滅してディスクプレイが一時停止します。もう一度押すと、再びディスクプレイが始まります。

●CDプレーヤー



●ディスクチェンジャー



2 トラックサーチ - 聴きたい曲を選ぶ -

●先の曲の選ぶ

- ▶▶ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
- ▶▶ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。

●現在の曲を最初から聴く/手前の曲の選ぶ

- ◀◀ボタンを押すと現在の曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
- ◀◀ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

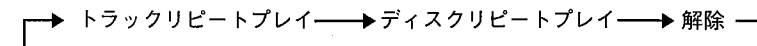
MDチェンジャーを聴いているときにトラックの先頭まで早戻しすると、自動的に解除されてディスク演奏が始まります。

3 ディスクサーチ - 聴きたいディスクを選ぶ - (ディスクチェンジャーのみの機能)

+ボタンを押すごとに先のディスクへサーチします。
 -ボタンを押すごとに手前のディスクへサーチします。

4 リピートプレイ - 同じ曲/同じディスクを繰り返し聴く -

REPボタンを押すごとにリピートプレイモードが以下のように切り替わります。



●トラックリピートプレイ

トラックNo.表示が点滅して、聴いている曲を繰り返し演奏します。

●CDプレーヤー



●ディスクチェンジャー



●ディスクリピートプレイ (ディスクチェンジャーのみの機能)

ディスクNo.表示が点滅して、聴いているディスクを繰り返し演奏します。



5 トラックスキャンプレイ - 聴きたい曲を探す -

SCANボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがオン/オフします。

オンにすると、トラックNo.表示が点滅して、聴いているディスクの各曲の先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。

聴きたい曲が見つかったら、SCANボタンまたは▶IIボタンを押します。

●CDプレーヤー



●ディスクチェンジャー



6 ディスクスキャンプレイ - 聴きたいディスクを探す - (ディスクチェンジャーのみの機能)

D.SCNボタンを押すごとにディスクスキャンプレイがオン/オフします。

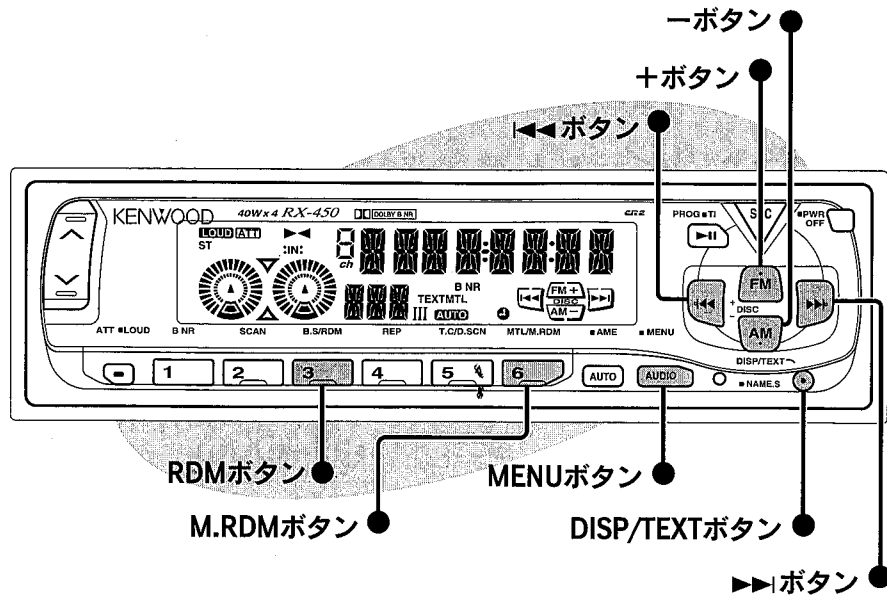
オンにすると、ディスクNo.表示が点滅して、マガジン内のディスクの先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。

聴きたいディスクが見つかったら、D.SCNボタンまたは▶IIボタンを押します。



DISC CONTROL MODE

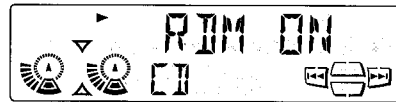
DISC CONTROL MODE



7 **トラックランダムプレイ** —聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する—

RDMボタンを押すごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。
オンにすると、自動的に曲を選んで演奏します。
演奏中はトラックNo.表示が点滅します。
▶▶ ボタンを押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。

●CDプレーヤー



●ディスクチェンジャー



8 **マガジンランダムプレイ** —マガジンから自動的に曲を選ばせて演奏する—
(ディスクチェンジャーのみの機能)

M.RDMボタンを押すごとにマガジンランダムプレイがオン/オフします。
オンにすると、自動的に曲を選んで演奏します。
演奏中はディスクNo.表示とトラックNo.表示が点滅します。
▶▶ ボタンを押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。



9 **CDテキストオートスクロール オン/オフ** —CDテキストを自動的にスクロール表示する— **MENU MODE**

1. MENUボタンを1秒以上押してメニューモードにします。
2. ◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押して、「SCL」を表示させます。
3. +ボタンまたは-ボタンを押すごとに「SCL AUTO」（オートスクロールオン）と「SCL MANU」（オートスクロールオフ）に設定が切り替わります。
4. MENUボタンを押してメニューモードを終了します。

オートスクロール表示オンに設定すると、CDテキストのディスク/トラックタイトル表示時に、自動的にタイトルを繰り返しスクロール表示します。

注意 CDテキストは、KDC-C210またはKDC-C206を直接本機に接続して、CDテキスト対応の音楽CDを演奏時に表示できます（ディスクチェンジャーのO-Nスイッチは“N”の設定してください）。KCA-S200を使用して本機に接続している場合はディスク/トラックテキストの表示はできません。
なお、文字の種類によっては、表示できないものがあります。

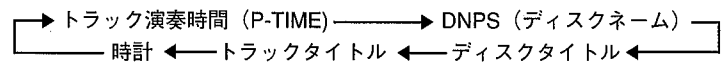
10 **表示モード切り替え** —表示を切り替える—

DISP/TEXTボタンを押すごとに下記のように表示が切り替わります。

●CDプレーヤー演奏時



●ディスクチェンジャー演奏時



CDテキスト対応のCDでは、トラックタイトル/ディスクタイトル表示中にDISP/TEXTボタンを1秒以上押すとタイトルがスクロールして表示されます。

- ◆CDテキストオートスクロールを オフ に設定しているとき
1回タイトルがスクロール表示されます。
- ◆CDテキストオートスクロール をオン に設定しているとき
最初の文字に戻ってタイトルがスクロール表示されます。

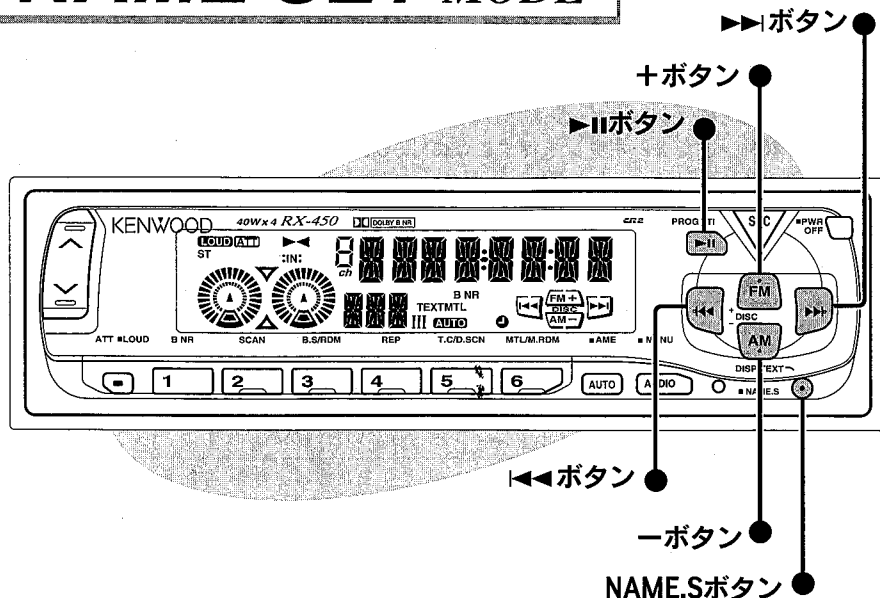
- ディスクネームプリセットされていないCDやMDIは、DNPS表示にすると「NO NAME」と表示されます。
- テキスト対応されていないCDは、ディスク/トラックタイトル表示にすると「NO TEXT」と表示されます。
- タイトルが記録されていないMDIは、ディスク/トラックタイトル表示にすると「NO NAME」と表示されます。
- DNPS（ディスクネームプリセット）の登録方法は26ページをご覧ください。

注意 時計表示オン/オフの設定（15ページ）でオフを選択している場合は時計表示はされません。

DISC CONTROL MODE

NAME SET MODE

NAME SET MODE



ネームセット—放送局やディスクに名前を付ける—

●SNPS (ステーションネームプリセット)

1. ステーションネームを付けたい放送局を受信、または周波数に合わせます。
2. NAME.Sボタンを2秒以上押します。
「NAME SET」と表示され、入力できる位置のカーソルが点滅します。

●DNPS (ディスクネームプリセット)

1. ディスクネームを付けたいディスクを演奏します。
2. NAME.Sボタンを2秒以上押します。
「NAME SET」と表示され、入力できる位置のカーソルが点滅します。



以降はSNPS、DNPS共に同一操作です。

3. <<または>>ボタンを押して、文字を入力したい位置にカーソルを移動させます。
4. >>ボタンを押すごとに文字種がアルファベットと数字/記号に切り替わります。



- DNPSでは“RD-350”“KDC-C210”“KDC-C206”以外のCDプレーヤー、ディスクチェンジャーを接続している場合は、4.の>>ボタンを押すとネームセットモードが終了します。
+ボタンまたは-ボタンでアルファベット、数字、記号を選択してください。
なお、入力できる記号は「/+-#=[]」になります。
- RD-350、KDC-C210、KDC-C206でもスイッチングユニット“KCA-S200”を使用して本機に接続している場合は、上記と同一操作になります。

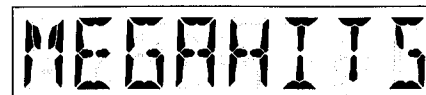
5. +ボタンまたは-ボタンで文字を選びます。+ボタンまたは-ボタンを押し続けると、連続して文字を替えることができます。

- 入力できる記号は、/+-#=[]です。
- 入力できる文字数は8文字までです。
- スペースは“ ”で入力できます。

6. 3.~5.の操作を繰り返してディスクネームを完成させます。



7. NAME.Sボタンを押すと、ネームが登録されます。



- 10秒間以上何も操作しないと入力したところまでの文字がメモリーされ、ステーション/ディスクネームセットモードが終了します。
- ステーションネーム表示の前の数字は、チューナーメモリーのボタンNo.です。チューナーメモリーされていない場合は表示されません。
- ネームの変更は以下の操作で行います。
1.と2.の操作で現在のネームを表示させます。その後、3.~7.の操作を行うと変更できます。
- リセットボタンを押すとステーションネームは消去されます。(ディスクネームは消去されません。)



- DNPSはMDにタイトルを記録する機能ではありません。
- ステーションネームを登録できる局数
FMバンドが18局、AMバンドが16局までです。
- ディスクネームを登録できるディスクの枚数
接続する機種により枚数が異なります。お使いのCDプレーヤー、ディスクチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。
- ディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。総録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。

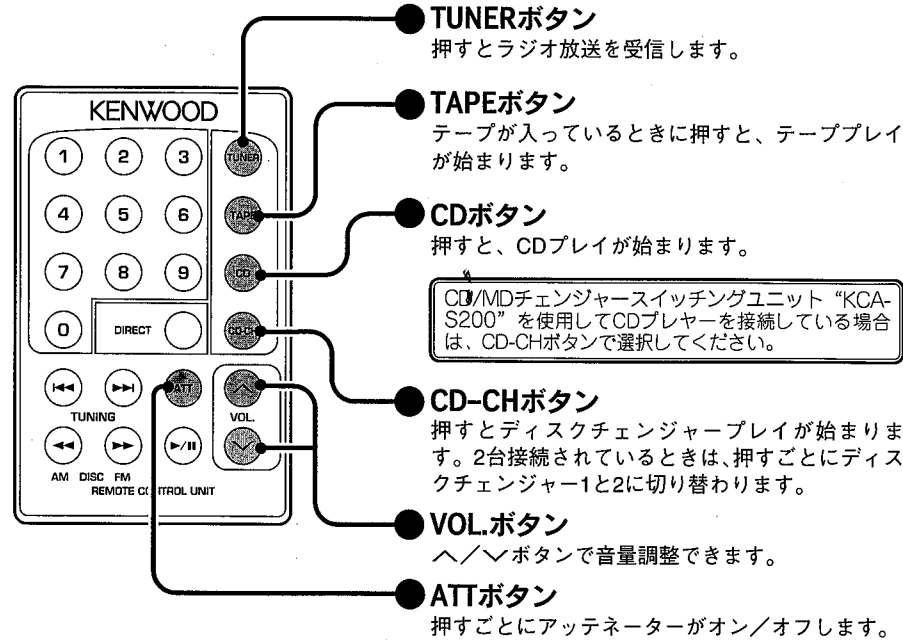


文字入力は複雑な操作です。走行中、運転者は操作しないでください。

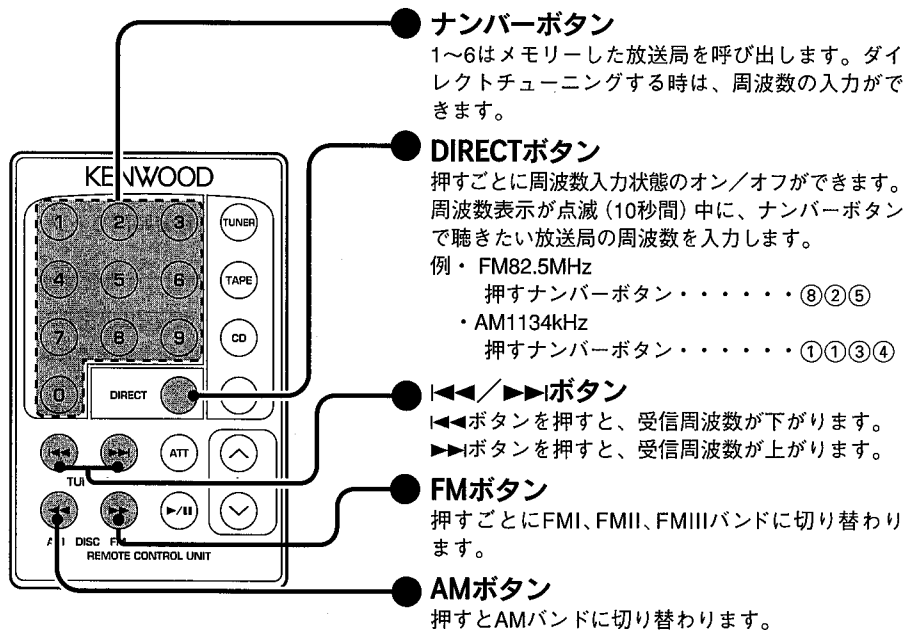
REMOTE CONTROL MODE

REMOTE CONTROL MODE

■ ALL MODE

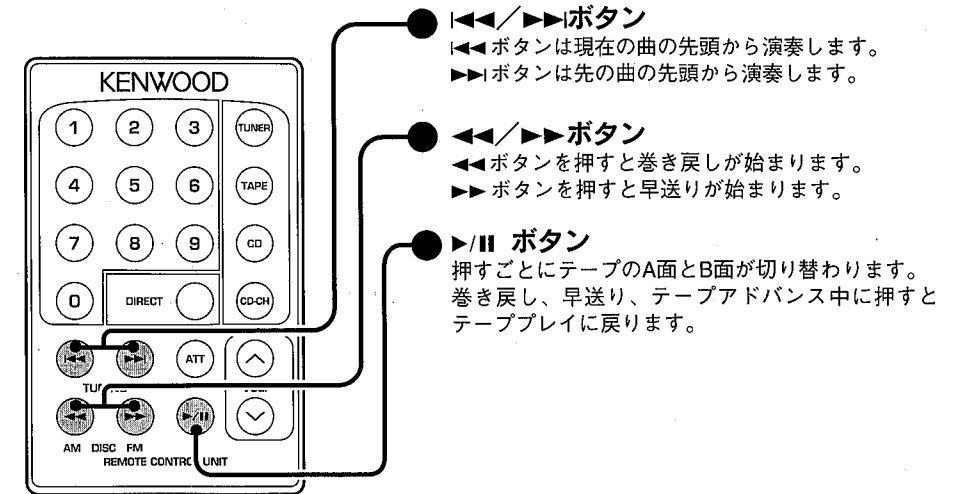


■ TUNER MODE

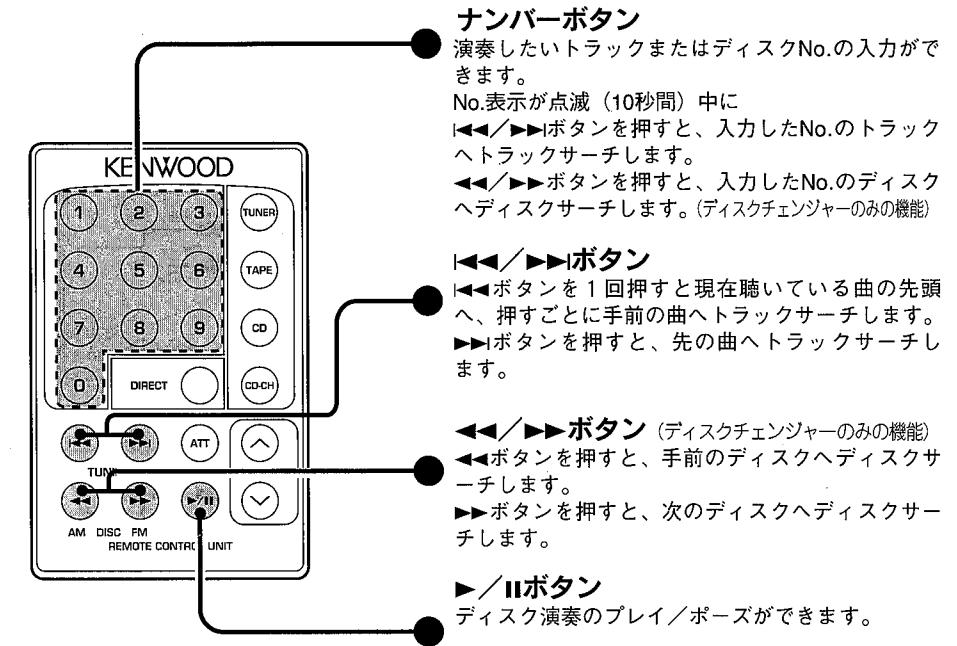


（別売のリモコン“KCA-R4”を使用するとリモコンから本機を操作することができます。）

■ TAPE MODE



■ DISC CONTROL MODE

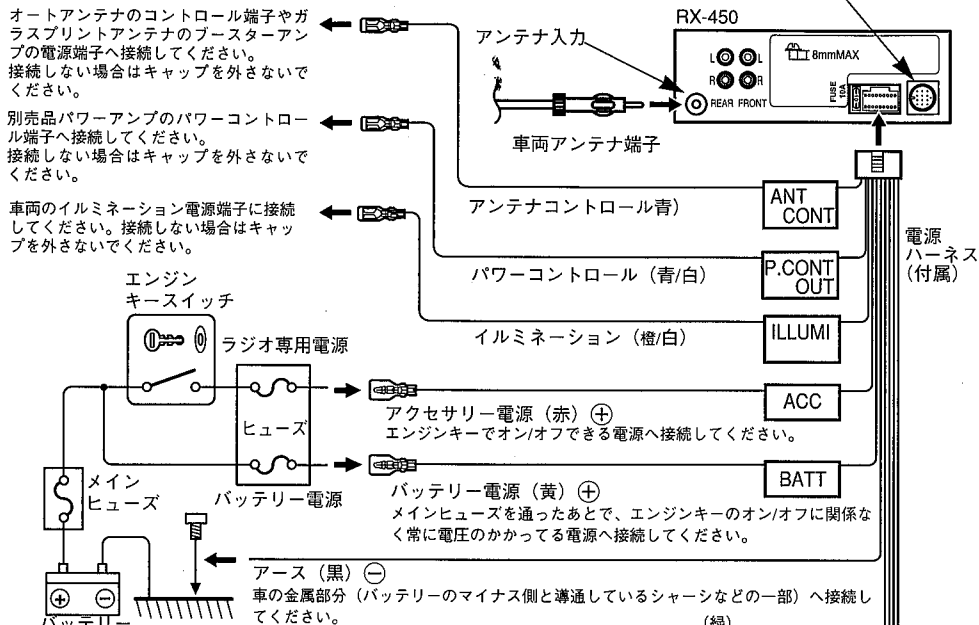


REMOTE CONTROL MODE

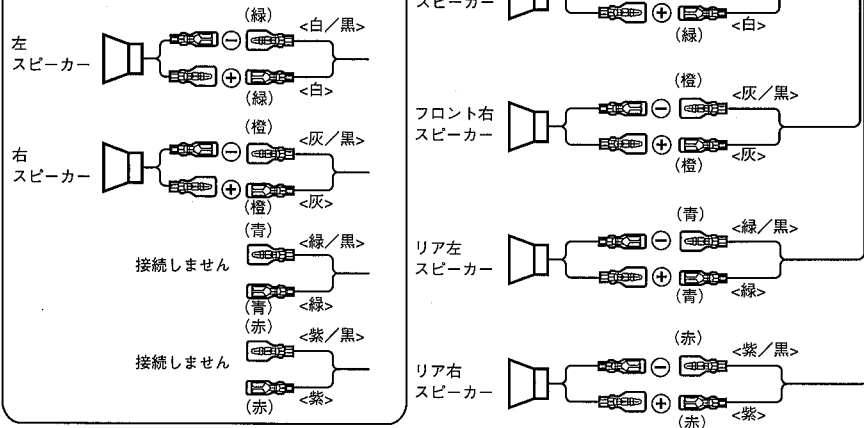
接続・取り付けのしかた

! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

- 実施**
1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
 2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
 3. 電源ハーネスのアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)を順に接続します。
 4. 電源ハーネスのコネクターをRX-450に接続します。
 5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
 6. 電源をオンにしてリセットボタンを押します。(⇒P.8、P.10)

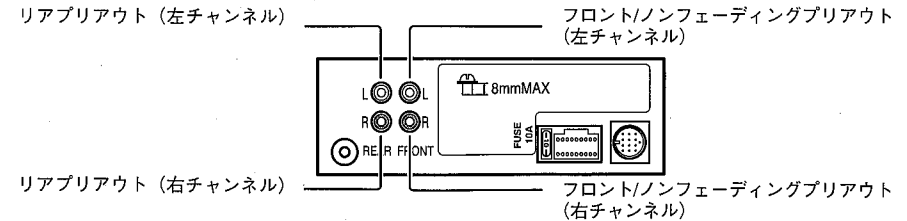


2スピーカー時のスピーカー接続方法



●プリアウト端子の接続

別売品のRCAケーブルを使用して、パワーアンプに接続します。

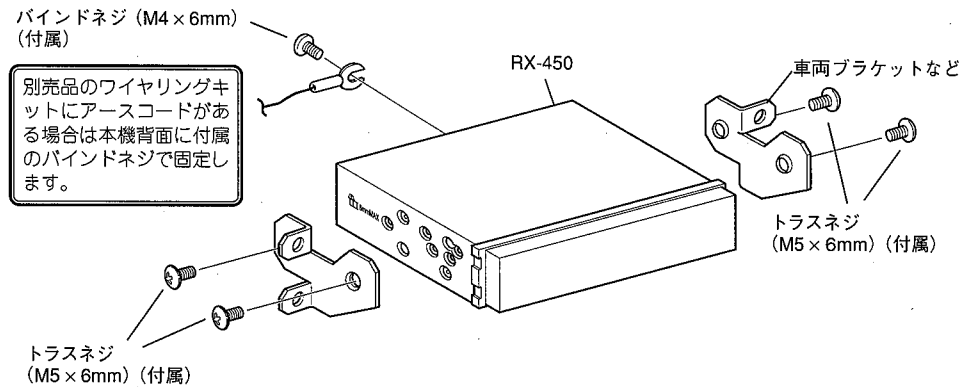


プリアウト端子からは、操作確認音(ピーブ音)は出力されません。

●本機取り付け

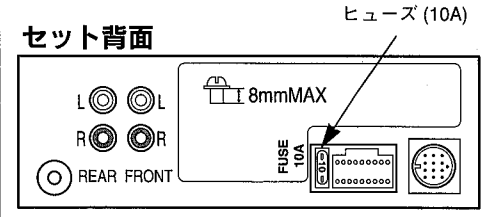
付属のトラスネジ(M5×6mm)4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

! 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
注意 付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。
 また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。



●ヒューズ交換のしかた

! ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

| こんなとき | どうして | こうします |
|-------------------|--|--|
| 音が出ない/小さい | <ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがオンになっている。 ヒューズが切れている。 フェダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。 入・出力/電源コードが間違っで接続されている。 カセットテープの不良。 | <ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。 フェダー、バランスを調整してください。 "接続・取り付けのしかた"を見て正しく接続してください。(⇒P.30) 他のカセットテープを使用してください。 |
| 操作スイッチを押しても動作しない | マイコンが誤動作している。 | リセットボタンを押してください。(⇒P.8、P.10) |
| 音質が悪い(音が歪む) | <ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 ヘッドが汚れている。 スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 スピーカー配線が間違っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 "ヘッドクリーニングについて"を見てヘッドクリーニングを行ってください。(⇒P.9) スピーカー配線をチェックしてください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。 |
| テープが入らない | <ul style="list-style-type: none"> カセットハーフが変形している。 テープが逆向きになっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 他のカセットテープを使用してください。 テープが見える面を右にして入れてください。 |
| チューナーの感度が悪い | <ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていない。 アンテナコントロール電源が接続されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 "接続・取り付けのしかた"をみてアンテナコントロール電源を接続してください。(⇒P.30) |
| カセットモード中にアンテナが伸びる | チューナーコールがオンになっている。 | チューナーコールをオフにしてください。(⇒P.21) |

●別売のCDプレーヤーやディスクチェンジャーを接続しているとき

| こんなとき | どうして | こうします |
|---|--|---|
| CDプレーヤーやディスクチェンジャーモードにならない | 本機にCDプレーヤーやディスクチェンジャーが接続されていない。 | 本機のCDプレーヤー/ディスクチェンジャー入力に接続してください。 |
| 操作スイッチを押しても動作しない | マイコンが誤動作している。 | リセットボタンを押してください。(⇒P.8、P.10) |
| ディスクの演奏が始まらない | 電源がオンになっていない。 | 電源をオンにした後、SRCボタンを押して「CD」や「DISC」を選択してください。 |
| ディスクが演奏されない。ディスクチェンジャーでは指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする | <ul style="list-style-type: none"> ディスクが異常に汚れている。 ディスクが裏返しになっている。 ディスクが2枚同じ場所に入っている。 ディスクの入れた場所と指定No.が違う。 ディスクに大きな傷がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ディスクのクリーニングをしてください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。 他のディスクを使用してください。 |
| 演奏表示はするが音がでない | <ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがオンになっている。 マイコンが正常に動作していない。 | <ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 本機のリセットボタンを押してください。(⇒P.8、P.10) |
| 選曲動作をしても目的の曲にならない | ランダムプレイ/マガジンランダムプレイになっている。 | ランダムプレイ/マガジンランダムプレイをオフしてください。(⇒P.24) |
| KDC-C210,KDC-C206を接続して、CDテキスト対応CDをかけているが、ディスク/トラックタイトルが表示されない | <ul style="list-style-type: none"> KDC-C210,KDC-C206のO-Nスイッチが「O」に設定されている。 KCA-S200を使用してKDC-C210,KDC-C206を接続している。 | <ul style="list-style-type: none"> O-Nスイッチを「N」に設定してください。 KCA-S200を使用している場合はCDテキスト表示機能は動作しません。 |

故障かな？と思ったら

以下の表示でCDプレーヤーやディスクチェンジャーの状態をお知らせします。

- EJECT** : ディスクマガジンが入っていない。
ディスクマガジンが完全に入っていない。
CDプレーヤーにディスクが入っていない。
など
- NO DISC** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- E-04** : ディスクが異常に汚れている。
ディスクが裏返しになっている。
ディスクにキズが多く付いている。
ディスクが入っていない。
ディスクマガジンにトレイが入っていない。
- BLANK** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
- NO DATA** : 演奏しようとしたMDに何も記録されていない。
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒ 本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-77”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- E-99** : ディスクマガジンに異常がある。
何らかの原因で正常に動作していない。
⇒ ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
ディスクマガジンに異常がなければ、本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-99”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- HOLD** : 温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。
このときこの表示が出ます。
⇒ 取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(ディスクチェンジャーを一緒に持ち込まれる際は、ディスクマガジンを取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。